

# 「今、何の病気が流行しているか！」

## (川崎市感染症発生動向調査事業—令和4年第35週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和4年第35週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和4年第35週（令和4年8月29日から令和4年9月4日まで）

第35週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）手足口病 2）感染性胃腸炎 3）RSウイルス感染症でした。

手足口病の定点当たり患者報告数は6.58人と前週（6.69人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.36人と前週（1.64人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は1.72人と前週（1.81人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

今週のトピックス

“手足口病が流行中～大人も要注意！～”について取り上げました。

川崎市における令和4年第35週（8月29日～9月4日）の手足口病の患者報告数は定点当たり6.58人と、8月上旬から流行が続いており、5歳以下の乳幼児が全体の97.9%を占めています。

手足口病は手のひらや足の裏、口腔内などに水疱性の発しんが現れる疾患で、基本的には予後は良好です。まれに症状の改善後に手足の爪が剥がれ落ちることもありますが、新しい爪が生えれば元に戻るとされています。

大きな流行があると成人がかかる場合もあり、その際は症状が重くなることもあります。原因となるウイルスは、症状改善後も1か月程度は便から排泄されるといわれています。お子さんがかかった場合は、御家族の方も手指衛生などの予防対策を徹底するようにしましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

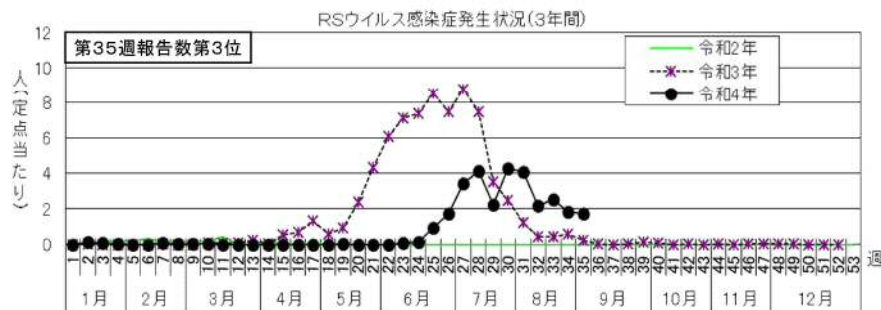
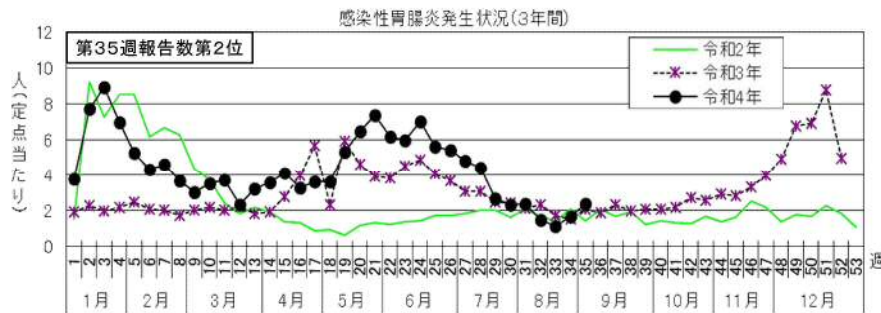
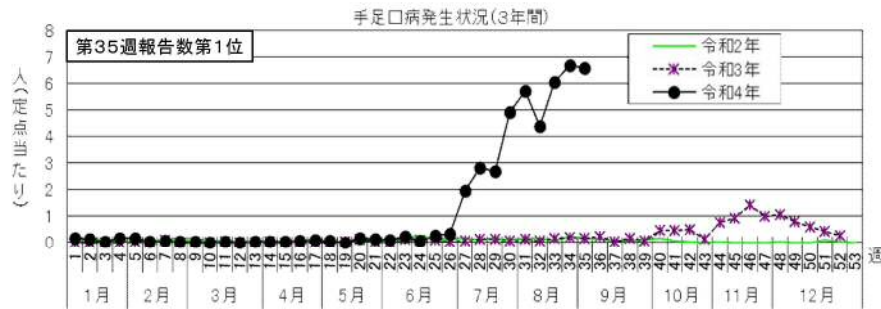
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木  
電話044（200）2446  
川崎市健康安全研究所 三崎  
電話044（276）8250

# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

令和4年8月29日（月）～令和4年9月4日（日）〔令和4年第35週〕の感染症発生状況

第35週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 手足口病 2) 感染性胃腸炎 3) RSウイルス感染症でした。  
 手足口病の定点当たり患者報告数は6.58人と前週（6.69人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.36人と前週（1.64人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。  
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は1.72人と前週（1.81人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

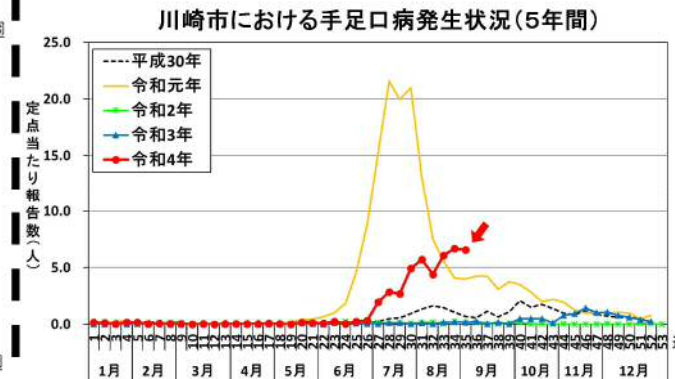


## 手足口病が流行中～大人も要注意！～

川崎市における令和4年第35週（8月29日～9月4日）の手足口病の患者報告数は定点当たり6.58人と、8月上旬から流行が続いており、5歳以下の乳幼児が全体の97.9%を占めています。

手足口病は手のひらや足の裏、口腔内などに水疱性の発しんが現れる疾患で、基本的には予後は良好です。まれに症状の改善後に手足の爪が剥がれ落ちることもあります。新しい爪が生えれば元に戻るとされています。

大きな流行があると成人がかかる場合もあり、その際は症状が重くなることもあります。原因となるウイルスは、症状改善後も1か月程度は便から排泄されるといわれています。お子さんがかかった場合は、御家族の方も手指衛生などの予防対策を徹底するようにしましょう。



**手足口病とは？**

**病原体：**コクサッキーウイルス、エコーウイルス、エンテロウイルスなど

**感染経路：**飛沫感染、接触感染、糞口感染

**潜伏期間：**3～5日

**典型的な症状：**軽度の発熱、手掌、足底・足背及び口腔内の粘膜などに水疱性の発しん

**予防対策：**手指衛生、排泄物等の適切な処理、タオルなどの共有は避ける。